

施策マネジメントシート(2024年度の振り返り、総括)

作成日 2025 年 8 月 1 日

基本目標	Ⅱ	豊かな自然と共生するまち					
施策	14	獣害対策の推進	主管課	名称	農林課	関係課	
				課長	合沢 衛		
				担当係	獣害対策センター獣害対策係		
							

目的と基本方針	鳥獣による被害を減らす
	・鳥獣被害による農林業離れや農地の荒廃を防ぐため、鳥獣の計画的な捕獲、地域での追い払い活動や、侵入防止柵の支援等を行います。

基本事業の考え方	・鳥獣の被害を減少するため、侵入防止柵の整備を行い被害から守る対策を行う。 ・鳥獣の出没情報の収集・提供を行い、事故の未然防止や安全確保に努める。 ・後継者が年々不足していくため、将来的な人材育成に努める。 ・ICTを活用するなど新技術の導入を行い、計画的な捕獲や管理を推進する。
----------	---

基本事業	基本事業名	対象	意図	取り組み方針
	1 農林産物被害の軽減	農家	鳥獣の侵入を防ぎ、農林産物の被害を減らす。	地域一帯での侵入防止柵設置の推進を図ります。
	2 鳥獣が出没しにくい環境整備	狩猟免許保持者	捕獲従事者を確保する。	狩猟登録経費の負担軽減により狩猟者育成を図り、捕獲従事者の確保を目指します。
	3 捕獲従事者育成	町民	狩猟免許取得者を増やす。	高齢化、人口減少による人材不足を解消するため、新規狩猟免許等の取得経費の補助を行い、免許の取得を促します。
	4			

施策を取り巻く状況	1. 施策の現状	2. 施策の課題
	・被害発生地区への侵入防止柵の設置補助や、追い払い資材の支給、猟期を含めた捕獲の推進(捕獲奨励金の支給)など総合的な取り組みを行っています。 ・鳥獣の行動範囲の拡大や個体数の増加、侵入防止柵の整備などの影響で被害発生地域が移動しており、被害防止未対策地域では被害が多発し、単価の高い果樹被害などが発生すると被害金額が増加する傾向があります。 ・人身被害の発生はクマの出没状況との関係が深く、隔年で発生しており、出没情報が寄せられた際には防災Infoみなかみを通じて注意を呼びかけています。また、人家近くや通学路等で人身被害が危惧される場合には、広報車で注意喚起も行っています。	・ニホンジカは生息域、生息数ともに急激に増えており、農業被害や森林被害が広がっています。赤谷プロジェクトが行っている生息域調査や低密度状態での個体数管理手法を参考にした、有害鳥獣捕獲及び猟期での効果的な捕獲が課題となっています。 ・ニホンザルの生息域も拡大し、町全域の農地に出没しています。被害防除には地域全体での追い払いや侵入防止柵の設置が有効ですが、根本的な解決には至っていません。被害の増加は個体数が増えていることが主因であり、捕獲による個体数の調整が緊迫の課題です。 ・捕獲従事者の高齢化は深刻な問題であり、従事者数の減少は捕獲頭数の減少に直結するため、鳥獣による被害の拡大が危惧されます。人手不足の解消には、若年層の狩猟免許取得者を増やす方策や、農業従事者の狩猟免許取得を促す方策などのほか、補助の拡充などが必要です。
	3. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか？	4. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？

・捕獲数については県の第13次鳥獣保護事業計画や適正管理計画(ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル、ツキノワグマ)に基づいた捕獲を行い個体数の管理を行うこととなっており、県の計画では、イノシシ、ニホンジカについては生息数の半減を目指し、ニホンザルについては加害群定着域の拡大防止を図ることとなっている。	・侵入防止柵の整備要望が多くなっており、数年前に設置をした3段の電気柵を5段や7段に増強したり金網フェンスへの転換する要望が増えている。また、小規模の畑などに設置出来るように制度の拡充を求める声があがっている。
・ツキノワグマについては環境省ガイドラインによる捕獲上限を設定した管理を行うこととなっており、今後も個体数を管理しながら、被害面積を減らしていくことが必要である。	・出没地域からは捕獲(駆除)の推進を希望する声が多くなっている。 ・捕獲従事者から、鳥獣処理施設の設置要望がある。

施策のための目的・役割分担	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	・自分の農地を守るため、被害防止対策に努める。 ・管理されていない柿や栗などの放任果樹は伐採する。 ・未収穫農産物や野菜くずを農地に放棄しない。 ・サルなどが出没したら追い払いを行う。	・侵入防止柵などの被害防止対策を支援する。 ・地域における鳥獣の追い払い活動を支援する。 ・被害を引き起こす鳥獣の個体数管理を行う。 ・捕獲従事者に対する支援をする。 ・捕獲従事者の負担軽減を図るため、処理施設等の設置を検討する。

施策	14	獣害対策の推進	主管課	名称	農林課
				課長	合沢 衛

施策の成果指標	成果指標名		単位	区分	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
	A	鳥獣による農産物被害金額	千円	実績値	18,871	10,715	7,090	8,655			
				目標値		6,000	12,000	10,000	8,000	6,000	6,000
	B	鳥獣による農産物被害面積	ha	実績値	9.3	4.4	3.8	4.3			
				目標値		7.0	8.5	8.0	7.5	7.0	7.0
	C			実績値							
				目標値							
	D			実績値							
				目標値							

成果指標の達成状況	A	達成	成果指標増減の要因	A	目標値よりは低いものの、前年度に対して増加している。イノシシおよびシカの個体数が増加しており、過去に出没が見られなかった地域へ出没していることが影響している。
	B	達成		B	A同様に前年度に対して増加している。シカの出没が増加しており侵入防止柵がシカに対応できていない地域などで被害面積が増加している。
	C			C	
	D			D	

基本事業の成果指標	基本事業名		指標名	単位	区分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	1	農林産物被害の軽減	A 侵入防止柵の延長(新規・更新)	km	実績値	23.2	15.3	19.3	17.5			
					目標値		5.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
			B		実績値							
					目標値							
	2	鳥獣が出没しにくい環境整備	A 狩猟登録者数	人	実績値	99	87	84	82			
					目標値		-	93	93	93	93	93
			B		実績値							
					目標値							
	3	捕獲従事者育成	A 新規免許取得者数	人	実績値	4	2	3	3			
					目標値		-	4	4	4	4	4
			B		実績値							
					目標値							
	4		A		実績値							
					目標値							
			B		実績値							
					目標値							

基本事業 取り組み状況・増減の分析・課題・取り組み	取り組み状況		目標に対する増減の要因分析	現状の課題	具体的な取り組み
	1	被害農地への侵入防止柵の設置補助を実施している。	全体的に山間部の耕作面積が狭く総延長の短いほ場への設置が多かった。	イノシシ対策のために設置した施設にシカが出没するようになってきている。また、加害獣の出没が里地でも多く目撃されるようになった。	イノシシ用からシカ、サル用の電気柵や金網柵、複合柵への転換を図る。新規設置の際に出来る限り地域全体を囲えるように指導を行う。
	2	狩猟者育成事業補助金の交付を実施している。	新規免許取得者に比べ、高齢化による免許返納者が上回っている。	免許取得者の高齢化により狩猟が行えない状況にある。	狩猟登録にかかる費用の補助や、有害鳥獣駆除にかかる経費の補助を引き続き行う。
	3	新規免許取得に係る補助金の交付を実施している。	農業従事者等に、免許取得の呼びかけをしているが増加につながらない。	免許取得後すぐに有害鳥獣捕獲活動ができないため、免許取得に係る手間や経費と比較してメリットが少ない。	補助事業を広報などで周知。捕獲個体の活用方法の検討。免許取得に係る講習会の開催。若年層の農業者等へ免許取得の呼びかけ。
	4				

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000001		有害鳥獣捕獲奨励事業						① 事務事業の内容						③課題解決のため取り組んだ事、その結果						事業費		16,061,733 円					
施策体系	施策		14		獣害対策の推進						イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、ハクビシン、アライグマの捕獲及び処分することにより奨励金を交付する。						捕獲奨励金の増額						事業実績						
	基本事業		01		農林産物被害の軽減																		奨励金支払件数						
											②事務事業の課題						④今後の方針・課題解決策												
組織名			農林 課			獣害対策 係			有害鳥獣の捕獲資格者は、捕獲活動を生業としていないため、活動を充実させることは個人の負担が増加する。 住民の理解を得ることはもちろんのこと、行政による支援を充実させる必要がある。						奨励金の増額						令和 5年度		令和 6年度		単位				
事業期間	継続事業			会計	1	款	6	項	2	目	2							奨励金の増額						154		238		件	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000001		有害鳥獣情報収集・管理事業										① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	3,434,786 円	
施策体系	施策	14		獣害対策の推進										有害鳥獣の出没及び被害状況の情報を収集し、農林産物等の被害低減に役立てる。また、猿追跡用発信器取付業務委託費用、野猿追跡調査員の選定、指導、委託契約事務。 生息域が拡大しているニホンジカにGPS発信器を取付けて効果的な捕獲を目指す。		出没・目撃情報を有効活用する方法の検討		事業実績		
	基本事業	02		鳥獣が出没しにくい環境整備														追跡調査員数		
	組織名		農林 課		獣害対策 係										②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業		会計	1	款	6	項	2	目	2	出没情報等収集した情報を農作物被害の低減に役立てる必要がある。		ニホンザルについて、現在使用している電波式発信器からGPS式の発信器への移行が必要になっている。		令和 5年度	令和 6年度	単位			
															4	4	人			

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000002		鳥獣被害対策実施隊運営事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		2,439,225 円					
施策体系	施策		14		獣害対策の推進						鳥獣被害防止対策特別措置法による鳥獣被害対策実施隊を編成し、隊員が対象鳥獣の追い払い等行うことで、猟銃の所持許可更新に必要な講習や狩猟税が免除される。				特になし				事業実績						
	基本事業		02		鳥獣が出没しにくい環境整備														ニホンザル捕獲数						
組織名			農林 課			獣害対策			係		②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				令和 5年度		令和 6年度		単位		
事業期間	継続事業			会計	1	款	6	項	2	目	2	・実施隊員は非常勤公務員であるため、実施隊活動中に捕獲業務を行っても捕獲奨励金を受けることができない。				特になし				107		147		頭	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000003		鳥獣被害防止パトロール事業										① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	267,417 円			
施策体系	施策		14		獣害対策の推進										会計年度職員としてニホンザル捕獲班を雇用して、捕獲オリの設置・見回り・捕獲・処分を実施する他、有害鳥獣の追い払いのほか、イヌネコの糞死体処理、道路パト等を実施する。				地域住民と積極的に関わり、出没情報の収集や被害に遭わないための指導の実施。				事業実績			
	基本事業		02		鳥獣が出没しにくい環境整備																		有害鳥獣の捕獲数			
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策													
組織名		農林 課				獣害対策 係										地域住民や農業者が追い払い活動に参加できる仕組みづくり				引き続き猿檻の管理捕獲は継続しながら、地域の要望等の聴取も行う。				令和 5年度	令和 6年度	単位
事業期間	継続事業		会計	1	款	6	項	2	目	2	679	1425	頭													

14. 獣害対策の推進

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000002		囲いわな・捕獲おり貸出事業										① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	308,336 円	
施策体系	施策		14		獣害対策の推進										囲いワナ・捕獲おり等の有害鳥獣の捕獲用具を購入し必要に応じて貸し出しを行う。	ククリワナを中心に捕獲資材を貸し出し	事業実績			
	基本事業		01		農林産物被害の軽減												貸し出し件数 (ハクビシン檻+イノシシ檻+ククリワナ)			
組織名			農林課			獣害対策係				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策								
										地域の協力、わな免許の取得者を増やす。		捕獲資材の修理、整備								
事業期間	継続事業			会計	1	款	6	項	2	目	2	令和 5年度			令和 6年度	単位				
												1100			1100	件				

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000003		有害鳥獣追い払い事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		1,444,820 円					
施策体系	施策		14		獣害対策の推進				有害鳥獣の農作物等被害を軽減するため、追い払いの資材(轟音玉、駆除雷3連発、爆竹等)を購入し、農業者等追い払いを実施する方に交付する。				動物駆逐用煙火の新規資格取得及び更新経費に対して費用を町で負担した。				事業実績						
	基本事業		01		農林産物被害の軽減												資料(轟音玉、駆除雷3連発等)交付件数						
組織名			農林課			獣害対策係			②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策										
									農業者等に積極的に追い払いに協力してもらう必要がある。				動物駆逐用煙火免許費用の補助を行う。地域での追い払いに花火等の資材を支給する。				令和 5年度		令和 6年度		単位		
事業期間		継続事業		会計		1 款		6 項		2 目		2						5620		7450		本個	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000001		獺友会活動事業		① 事務事業の内容										③課題解決のため取り組んだ事、その結果										事業費		5,048,000 円														
施策体系	施策		14		獣害対策の推進										利根沼田獺友会月夜野支部、水上支部、新治支部の運営全般に渡る事務を行う。										狩猟者登録に必要な経費の一部を補助した。										事業実績							
	基本事業		03		捕獲従事者育成																														獺友会員数							
組織名		農林		課		獣害対策係										②事務事業の課題										④今後の方針・課題解決策										令和 5年度			令和 6年度		単位	
事業期間	継続事業		会計	1	款	6	項	2	目	2	新規入会者が少ないため、高齢化が進んでいる。										狩猟免許の新規取得経費の補助を行い、有害鳥獣捕獲隊員の確保する。										94		86		人							

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000004		有害鳥獣侵入防止柵設置等補助事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		12,418,178 円					
施策体系	施策		14		獣害対策の推進						有害鳥獣が田畑等に侵入するのを防ぐため電気柵等の侵入防止柵を設置する費用に対する補助金の交付。				地域の要望に対応し、設置地区数、延長距離が大幅に増えた。				事業実績						
	基本事業		01		農林産物被害の軽減														電気柵設置力所致						
組織名			農林課			獣害対策係			②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				令和 5年度		令和 6年度		単位				
事業期間	継続事業			会計	1	款	6	項	2	目	2	電気柵を設置していない田畑等に有害鳥獣が出没が増えている。				毎年20km程度の設置を計画している。小さい囲いよりも、林縁部や園場一帯に設置する方法を検討する。				14		12		力所	